<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td><strong>タイトル</strong></td>
<td>【史料紹介】長崎県立対馬歴史民俗資料館蔵「明和八年辛卯年御掛物方御書物帳」「御書物帳」「御小納戸御書物控」翻刻</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>著者</strong></td>
<td>芹口真結子</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>引用</strong></td>
<td>日韓相互認識の視点から</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>日付</strong></td>
<td>2018-02-20</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>タイプ</strong></td>
<td>Journal Article</td>
</tr>
<tr>
<td><strong>文献番号</strong></td>
<td>URL: <a href="http://hdl.handle.net/10086/29032">http://hdl.handle.net/10086/29032</a></td>
</tr>
</tbody>
</table>
はじめに

対馬藩の蔵書目録に続いては、阿部留枝子がその特徴や活用のあり方、蔵書の管理方法を整理している。

さらに、対馬藩の蔵書目録は、天和三年「御御書物帳」を祖とする天和三年本系、明治期成立の「御御書物帳」に統合されていくが、明治期成立の「御御書物帳」に統合されていくが、以上の三系統に分類可能である。前稿では、これら三つの系統のうち、天和三年本系の

-- 奥御書物系目録の概要

1. 奥御書物系目録
2. 弘化二年「御御小納戸御御書物帳」参照
3. 明治期
4. 天保三年「御御書物帳」
三六八点のうち、①と②に記載されているのは全八一五点（①は五四八点、②は二六七点）であり、五五点余りの書物は①②のいずれにも収録されていないとされる。このうち、約半数は、九州国立博物館蔵「御用甲御用印御道具帳」の巻末に付されている書目で補完することが可能なようである。残る④明和八年「御掛物方御書物帳」は、掛軸類を扱う掛物方が管理する諸品のなか、書物類のみを独立させた目録であると指摘されている。

次節では、今回紹介する三つの奥書物系材目録について、各目録毎にその特徴を紹介していく。なお、資料名以下の丸括弧の記述は、長崎県立対馬歴史民俗資料館編「対馬宗家文庫史料冊子物目録」一三（長崎県教育委員会、二〇三〇年）での記載を示したものである。
明和八年（一七七五年五月）御書方御書物帳（天保三年御書籍帳）

（記録類Ⅲ、三三一本）

（記録類Ⅳ、三三三三本）

（四御書物帳）

（五附録、六御書物帳）

二年（一三三一本）

天保二年（一三三一本）

明和八年（一七七五年五月）御掛物方御書物帳は、

表紙の記述を踏まえると、明和八年（一七七五年五月）時点で、

御掛物方が管理していた書物の目録である。表紙には、丸のなか

ちと四角のかたちの二種類の印が押されている（印の画

像は、「丸」末尾に掲載）。見開き部分に押印されている。

書目は、前紀の資料に見られ、朝鮮国の書物を大きく揺らす

が、柳川公九郎の作である。目録の全体的な傾向とし

ては、ジャンル毎に整理するのではなく、各書目的最後の

記述から読み取れる。また、柳川公九郎の ...

（四錄に五錄など、朝鮮国の書物を大きく揺らすが、柳川公九郎の作である。目録の全体的な傾向とし

ては、ジャンル毎に整理するのではなく、各書目の最後の

記述から読み取れる。また、柳川公九郎の ...)
协

「協議」 (协)

協

協

協

協

協

協
三

凡例

一、体裁・用字は原則として原本の形式に従った。原本に
ある後筆の記号類は、適宜「」や傍線で表わした。

二、用字は原則として常用漢字を使用し、異体字・俗字な
どはそれに改めた。変体仮名は平仮名に改めた。ただ
し、以下の助詞はそのまま残した。

者は（江）

四、校訂は傍注で「」に示した。誤字の場合、正字を傍
注に示し、不明の場合は「マ」に示した。

虫損、破損などによる判読不能箇所は、字数分を「」で
示し、字数不明の場合は「」で示した。難読文字に
ついては口の脇に「難読」と付した。塗りつぶしによ
印一、いろは和歌集雑冊
印一、忠房応専雑冊
印一、後撰和歌集雑冊
印一、名所百題雑冊

印一、連歌合雑冊

印一、オープン合雑冊

印一、東洋道記雑冊

印一、歌書聞書雑冊

印一、奇異雑談集上下雑冊

印一、名所百題雑冊

印一、連歌初心抄雑冊
一、通俗元明軍談後部
武拾參冊入《玄》

（五丁才）

一、北條九代記拾冊入《玄》

（五丁未）

一、太閲記武拾冊入《玄》

一、信長記八冊入《玄》

一、甲陽軍鑑武拾參冊

（六丁午）

一、大和大學抄六冊入《玄》

（六丁未）

一、日本王朝一覧武部

内老部五冊入《玄》

内老部六冊入《玄》

内老部七冊入《玄》

内老部八冊入《玄》
拾八番
和漢朗詠集拾捌人玄

九才
東鑑拾五冊入玄

四十一番
大和孝經六冊入玄

拾九番
增補大和孝經四冊入玄

（九丁文）
餘拾壹番
新編東太平記拾冊入玄

（九丁文）
餘拾二番
一書奉部拾四冊入玄

（九丁文）
餘拾三番
新編鏡倉志五冊入玄

（九丁文）
餘拾四番
三篢鼎記六冊入玄

（九丁文）
餘拾五番
初學和歌式七冊入玄

（九丁文）
餘拾六番
小栗實記拾參冊入玄

（九丁文）
餘拾七番
朝鮮往復法書六冊入玄

（九丁文）
餘拾八番
與今月入置候玄

（九丁文）
餘拾九番
同拾冊入玄

（九丁文）
餘拾十番
同拾冊入玄

斷易天機

六冊入玄
| 十二 年 | 武拾一 | 二拾四
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>一</td>
<td>中国太平記拾冊人玄</td>
<td>大和本草拾捌冊人玄</td>
</tr>
<tr>
<td>二</td>
<td>諸葛孔明異伝四冊入玄</td>
<td>河内志拾捌冊人玄</td>
</tr>
<tr>
<td>三</td>
<td>設陽諸記拾捌册入玄</td>
<td>出雲風土記拾冊入玄</td>
</tr>
<tr>
<td>四</td>
<td>堪忍記四冊入玄</td>
<td>自讃歌註拾冊入玄</td>
</tr>
<tr>
<td>五</td>
<td>拾海一得拾冊入玄</td>
<td>今川童蒙解拾捌冊入玄</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 六 | 藥法雄鑑拾緒入玄 | 和漢絵用集拾捌冊入玄 | }

新著雑拾拾捌冊入玄
十四丁

入一、花譜參冊入玄
入一、草藥要法拾七卷冊入玄
入一、有馬六景老冊入玄
入一、池坊立夏書老冊入玄
入一、外間傳書老冊入玄
入一、兵庫所記老冊入玄
入一、書札弁感冊入玄
入一、坂傳冊入玄

入二、同州傳書老冊入玄
入二、十種香部老冊入玄
入二、天時占候冊入玄
入二、菊地軍記拾冊入玄
入二、內冊不足

入三、篤典年中行事老冊
入三、私御箱二入

入四、城制圖解老冊十二卷入入
入四、武馬必用冊入玄

入五、中行事老冊
入五、養蚕全書參冊入玄
入六、太鼓頭付冊入玄

入六、香道軒の玉水冊入玄
入六、養殖外科簡要老冊入玄
入六、財用間答老冊入玄
入六、養殖全書入玄

入七、私御箱入入
入七、先師侍側書入玄
入七、信使詣官渡數記老冊

入八、條書附隷老冊
入八、不相見
参拾七番

十九丁未

徒然草武冊入玄

和名類集拾冊入玄

兵法大意壹冊入玄

内含冊不足入玄

御返し二相成玄

参拾八番

和歌類集拾冊入玄

中世抄拾八冊入玄

立花大全老冊入玄

不見二相見ル

参拾九番

世俗愚案問答參冊入玄

町人袋七冊入玄

老人養草五冊入玄

僕行物語六冊入玄

知恵海參冊入玄

四十五番此御箱二人入

(入一)
二十四丁ヲ

入寅

入一、養生素解集式冊入玄

入一、和歌題林愚抄八冊入玄

入一、黄葉集老冊入玄

入一、井蛙抄五冊入玄

二十四丁ヲ

入寅

入一、小嶋のささみ式冊入玄

入一、按摩之図老冊入玄

入一、四拾五回

入一、類字仮名遣七冊

入一、訳官御覚書老冊入玄

入一、按鈃撰稿入玄

入一、四拾五回

入一、馬療弁解

入一、此御箱二入入玄

入一、書籍目録五冊入玄

入一、書籍目録

入一、三冊入

入一、集老冊入玄

入一、四拾五回

入一、駄官御覚書老冊入玄

入一、四拾五回

入一、兵庫名所記老冊入玄

入一、四拾五回

入一、受益談老冊入玄

入一、四拾五回

入一、御成敗式目老冊入玄

入一、京羽二重六冊入玄

入一、四拾五回

入一、江戸惣鹿子八冊入玄

入一、塩土伝五冊入玄

入一、生類

入一、日本鹿子拾式冊入玄

入一、日本歳時記式冊入玄

入一、此一部卅九番二入

玄
書老冊入

竹嶋書籍老冊入玄

二十六丁

日光卿社参記參冊

四拾七番

孝學全經老冊

已卯ノ九月二三日表へ

四拾八番

生小由家鈔冊五冊入玄

雲上奧秘老冊入玄

內冊不足

玄內冊不足
五拾四番
一、歷史編鑑武拾五冊
人寅

五拾五番
一、伊呂波三重韻選冊
六十七番御箱二入

五拾六番
一、唐詩選老冊
同入

五拾七番
一、農業全書拾老冊
一六十七番御箱入

五拾八番
一、義倫公遺愛錄老冊

十二丁才
一、詩學小城全四冊
六十七番御箱入

人寅

五拾四番
一、御圍縷冊全四冊
内四冊以前

五拾五番
一、和字彙全五冊

五拾六番
一、千字文緝入玄

五拾七番
一、法性院様御実録老冊

五拾八番
一、千字文緝入玄
三十七才

三十七才

三十八才

三十八才
<table>
<thead>
<tr>
<th>十三丁戊</th>
<th>入千字文国字解</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>九拾五番</td>
<td>入御遣訓</td>
</tr>
<tr>
<td>九拾四番</td>
<td>入同附錄</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入告志篇</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入神祖御書</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入翻楚篇</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入訓八條</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入逸話</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入総著詩話</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入無馬運犍野柴</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>十四丁未</th>
<th>入文苑詩鈔</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>九拾四番</td>
<td>入野著詩章</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入大覇八條</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入逸話</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入総著詩話</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>十五丁巳</th>
<th>入神祖御書</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入翻楚篇</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入訓八條</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入逸話</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>小学</th>
<th>四冊</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>礼記</td>
<td>五冊</td>
</tr>
<tr>
<td>詩</td>
<td>五冊</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>十六丁未</th>
<th>入康熙字典</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>九拾四番</td>
<td>入神祖御書</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入翻楚篇</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入訓八條</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入逸話</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>十七丁申</th>
<th>入和漢三才図会内老冊燒損</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入神祖御書</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入翻楚篇</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入訓八條</td>
</tr>
<tr>
<td>九冊入亥</td>
<td>入逸話</td>
</tr>
</tbody>
</table>

八十一冊入亥
<table>
<thead>
<tr>
<th>序号</th>
<th>项目</th>
<th>内容</th>
<th>说明</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>24丁</td>
<td>二十四丁</td>
<td>序号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>27丁</td>
<td>二十七丁</td>
<td>序号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>30丁</td>
<td>三十丁</td>
<td>序号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33丁</td>
<td>三十三丁</td>
<td>序号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>36丁</td>
<td>三十六丁</td>
<td>序号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>39丁</td>
<td>三十九丁</td>
<td>序号</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>42丁</td>
<td>四十二丁</td>
<td>序号</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

说明：
- 二十四丁：...
- 二十七丁：...
- 三十丁：...
- 三十三丁：...
- 三十六丁：...
- 三十九丁：...
- 四十二丁：...